

ネットを通じた子供の性被害の防止に向けた共同メッセージ
～保護者の皆様へ～

熊本地震から1年以上が経ち、少しずつ復旧復興が進む中、震災後、2度目の夏休みを迎えることとなります。

この時期、子供たちはたくましく成長する反面、開放感や気の緩みから生活が乱れた結果、非行に走ったり、犯罪の被害に巻き込まれたりするケースも懸念されるところです。

ここ数年、県内では、子供たちのスマートフォンなどの端末の保有率やSNSの利用も高まっており、コミュニティサイト等を介した児童買春や児童ポルノなどの性被害が増加するとともに、被害者は低年齢化の傾向にあります。

子供たちが日頃から使っているSNSなどのコミュニティサイトを通じて性被害に遭い、被害者のほとんどが中高生であるという現実は、男女を問わず、決して他人事ではなくなってきています。

保護者の皆様には、子供たちが使うスマートフォンなどについて、

- フィルタリングの設定
- 家庭内でのルールづくり

を確実に行っていただいた上で、子供たちがスマートフォンなどを実際どのように使っているのか、しっかり確認していただくようお願いします。

子供たちが性犯罪の被害に巻き込まれることがないよう、そして、子供たちが健やかに成長できるよう、しっかり見守ってあげてください。

平成29年7月13日

熊本県警察本部長 村田 達哉

熊本県教育長 宮尾 千加子

熊本市教育長 遠藤 洋路